

学童保育所専用区画における面積計算の考え方

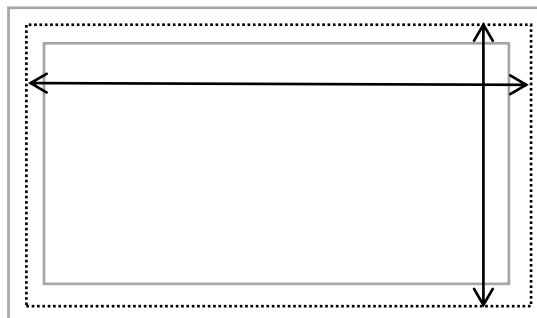
(1) 面積計算に係る各辺の長さの測り方

各辺の測り方は、外寸、壁芯、内寸があるが、学童保育所専用区画面積の積算については、育成に使用可能な面積を求める必要があることから、**内寸**とする。

【算出方法 ○】



【算出方法 ×】



(2) 専用区画面積に含めることができるもの・除くもの

育成に使用可能な面積であることから、「東京都保育所設備・運営基準解説」を準用し、**建具**や**固定式家具等**を配置する箇所は有効面積から**除く**こととするが、1日のうち**特定の時間帯のみ育成を目的として配置されるもの**や、常時配置されるものであっても**勉強机等日常の育成の用に供するものは含めることができる**とする（下記の例参照）。

なお、原則、廊下（専用区画と一体となっている場合を除く。）や事務スペース等**育成の要に供しない区画**や**児童が立ち入ることができない区画**は、有効面積から**除かれる**。

《具体例》

含めることができるもの	<input type="checkbox"/> 勉強机や軽食等食事の際に使用する机、椅子 <input type="checkbox"/> 遊び等の際に使用するソファ等 <input type="checkbox"/> 吊戸棚等、床から180cm以上上部に取り付けられているもの
除くもの	<input type="checkbox"/> ロッカーや棚、本棚等の設備で常設のもの <input type="checkbox"/> キッチンやシンク、冷蔵庫、手洗い場などの生活関係設備 <input type="checkbox"/> ピアノやオルガン等可動式であっても常時配置されているもの

(3) 面積の積算に係る端数処理について

小数点第3位を切捨てるものとする。

ただし、学童保育所については、既存の戸建てやマンション等の1室を使用する場合もあることから、この場合は、専用区画となる各部屋の面積の合計について、**小数点第3位を切捨てるものとする。**

《具体例》

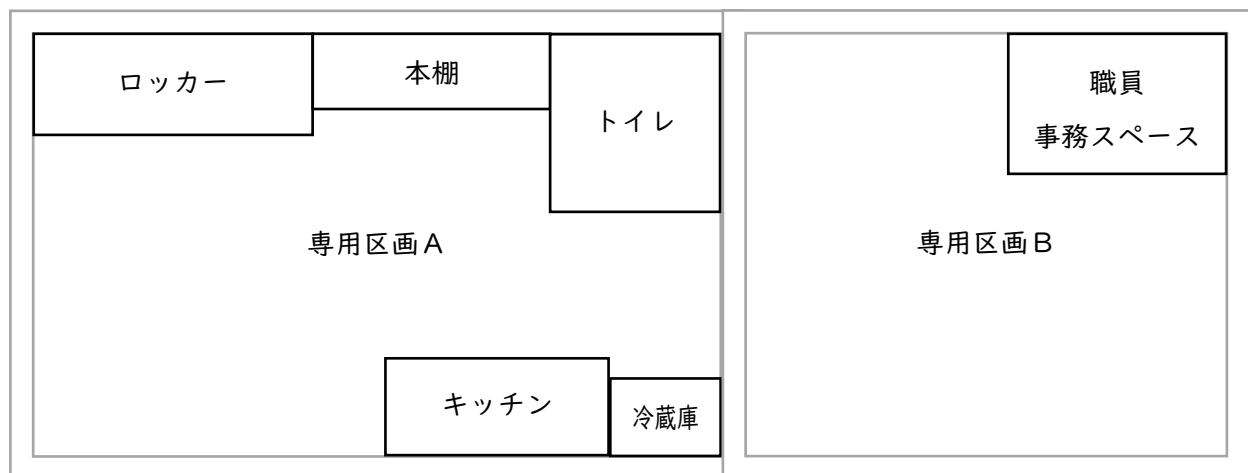


左図の場合は、専用区画（A+B+C）の合計値の小数点第3位を切捨てる。

なお、計算の都合上、**各専用区画において端数処理**を行い、その合計値を専用区画面積としても構わない。

また、専用区画の面積を算出した後に、ロッカーや棚等の設備の面積（非専用区画）を除く方法で計算する場合もあることから、この場合は、**専用区画の全体の面積**（端数処理後）から**非専用区画の面積の合計**（端数処理後）を除くことで専用区画の面積を算出するものとする。

《具体例》



上図の場合は、以下のとおり専用区画の面積を算出する。

専用区画面積（A+B）の合計値（端数処理後）－ ロッカー等各非専用区画面積の合計値（端数処理後）

なお、非専用区画面積の算出については、**設備ごとに端数処理**を行い合計しても差し支えない。また、専用区画の面積も各専用区画に算出可能であるから、以下の算出方法でも構わない。

専用区画A面積（端数処理後）－ ロッカー等各非専用区画面積（端数処理後）の合計
＋ 専用区画B面積（端数処理後）－ 職員事務スペース面積（端数処理後）